

有価証券報告書の訂正報告書

(金融商品取引法第24条の2第1項に基づく報告書)

事業年度 自 平成22年4月1日
(第143期) 至 平成23年3月31日

オリンパス株式会社

(E02272)

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年5月8日

【事業年度】 第143期（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

【会社名】 オリンパス株式会社

【英訳名】 OLYMPUS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長執行役員 笹 宏行

【本店の所在の場所】 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目43番2号

【電話番号】 東京3340局2111番(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部長 新本 政秀

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿2丁目3番1号 新宿モノリス

【電話番号】 東京3340局2111番(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 大西 伸幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

当社では、過去の損失計上先送りを受け、改めて開示内容の精査を実施し、関係会社の状況についても、再調査を実施してまいりました。その結果、清算終了前の清算中の連結子会社を、関係会社数から漏らしていたケース、あるいは、連結子会社を誤って非連結子会社としていたケースなどが判明し、この調査により判明した関係会社数や関係会社の区分と有価証券報告書に記載されている関係会社数に不一致のあることが明らかになりました。

このことを受けて、平成23年12月14日、平成23年12月26日、平成24年6月29日および平成24年9月28日に提出いたしました第143期（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）有価証券報告書の訂正報告書の記載事項のうち、関係会社の数等を訂正するため、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、当該訂正は主に関係会社の数が正しく把握されていなかったことによるものであるため、今回の訂正による会計処理等の変更はございません。

今後、経理部門以外に関係会社管理の主管部門を定め、その部門が、期中の異動情報を包括的にモニタリングし、その異動の証拠も確実に入手します。さらに経理部門が四半期末ごとに関係会社の状況調査を実施の上、最終的に両部門がそれぞれの入手した情報を相互確認することで、誤謬の発生防止に万全を期することといたします。

2【訂正事項】

- 第1 企業の概況
- 3 事業の内容
- 4 関係会社の状況
- 第5 経理の状況
 - 1 連結財務諸表等
 - (1) 連結財務諸表
 - 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で示しております。

第1【企業の概況】

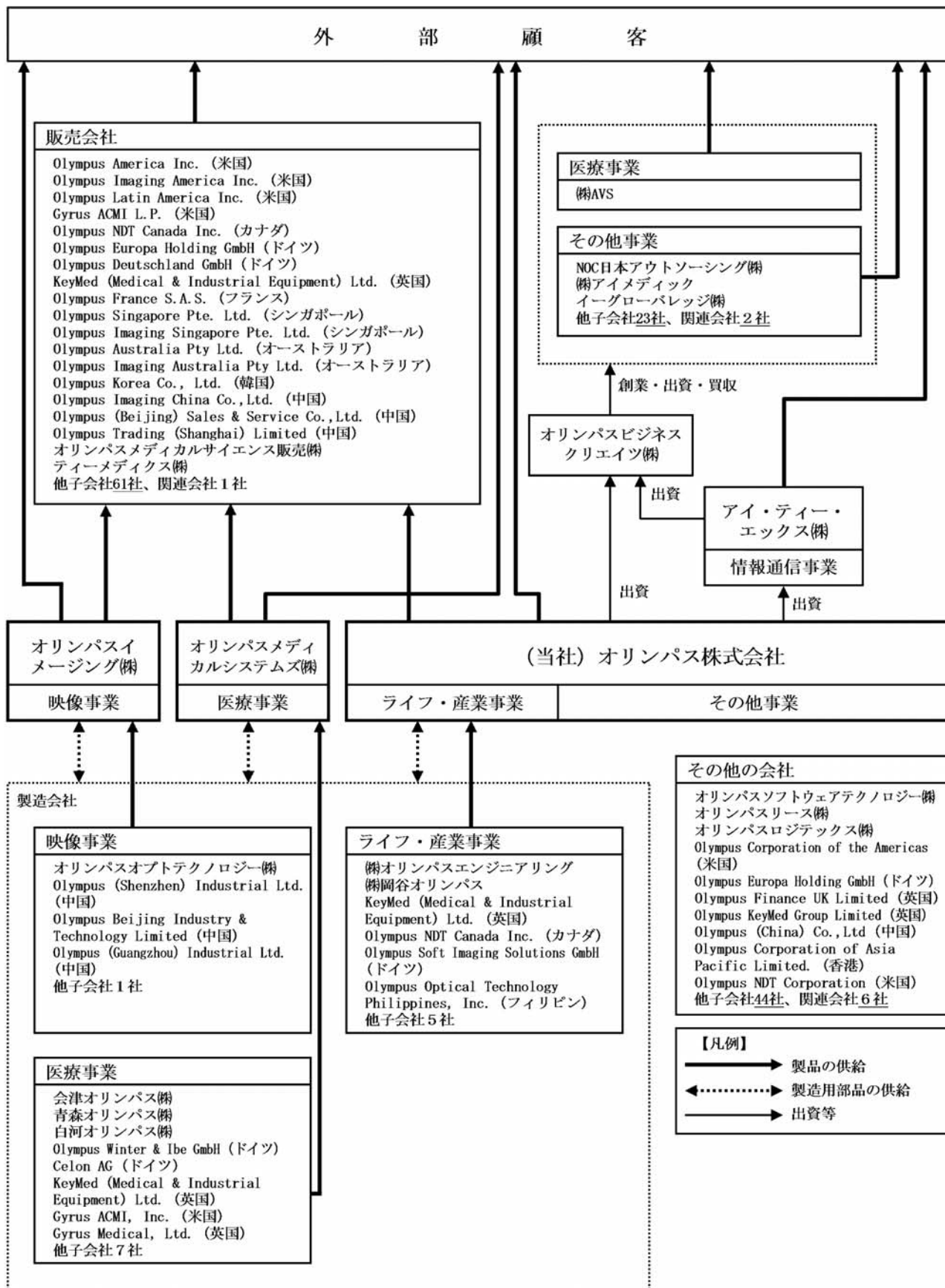
3【事業の内容】

(訂正前)

当社グループは、オリンパス株式会社（当社）、子会社188社及び関連会社11社で構成されており、医療、ライフ・産業、映像、情報通信及びその他製品の製造販売を主な事業とし、さらに各事業に関連する持株会社及び金融投資等の事業活動を展開しています。

<中略>

以上に述べた当社グループの概略図は、次のとおりです。

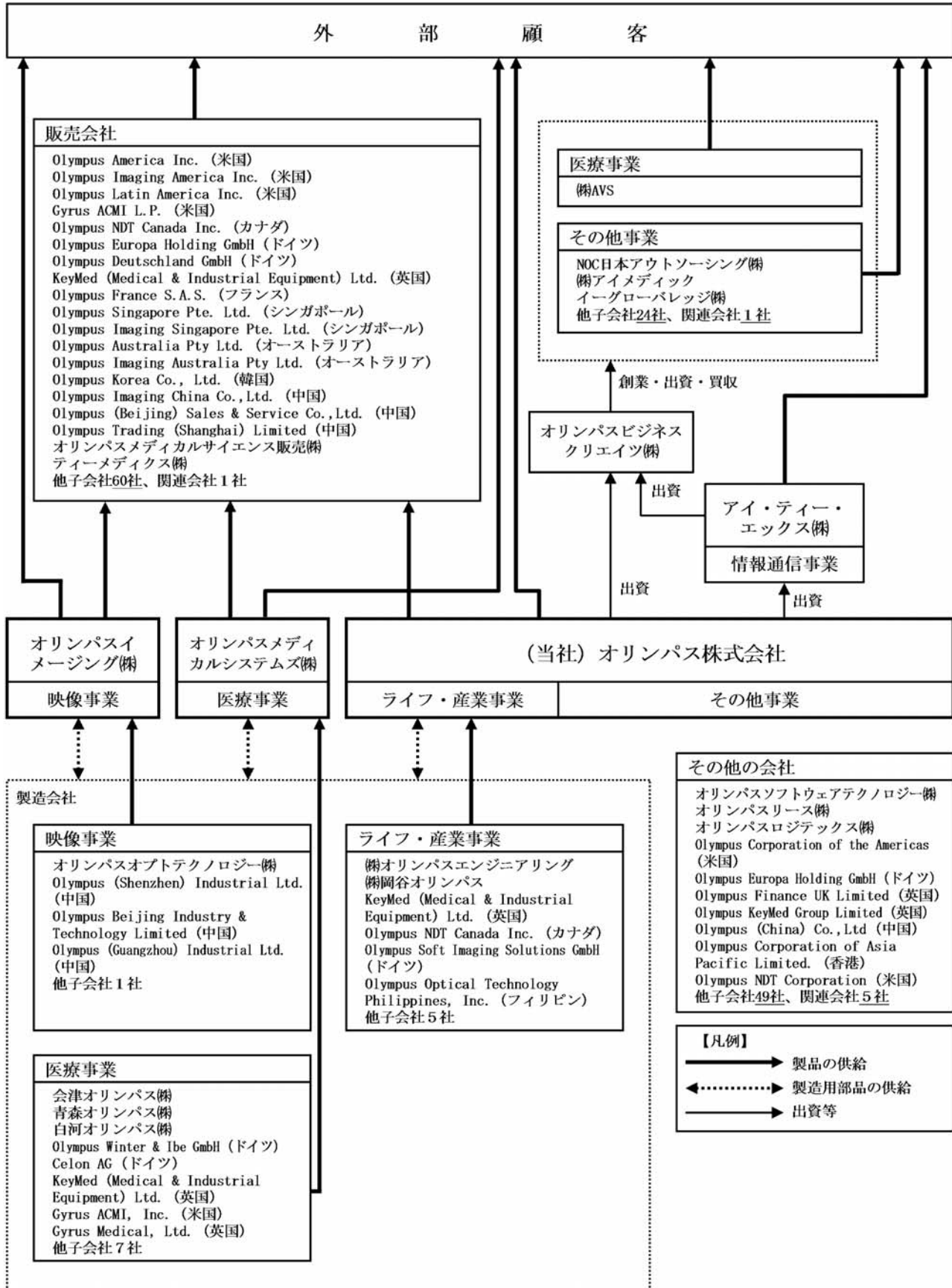


(訂正後)

当社グループは、オリンパス株式会社(当社)、子会社193社及び関連会社9社で構成されており、医療、ライフ・産業、映像、情報通信及びその他製品の製造販売を主な事業とし、さらに各事業に関連する持株会社及び金融投資等の事業活動を展開しています。

<中略>

以上に述べた当社グループの概略図は、次のとおりです。



4 【関係会社の状況】

(訂正前)

(平成23年3月31日現在)

名称	住所	資本金又は 出資金	主要な事業の 内容	議決権 の所有 割合 (%)	関係内容				
					役員の兼 務等		資金援助貸 付金	営業上の 取引	主要な損益情 報等 (1) 売上高 (2) 経常利益 (3) 当期純利 益 (4) 純資産額 (5) 総資産額 (百万円)
					提出 会社 役員 (名)	提出 会社 社員 (名)			
(連結子会社)									
			<中略>						
その他129社	—	—	—	—	—	—	—	—	—

<後略>

(訂正後)

(平成23年3月31日現在)

名称	住所	資本金又は 出資金	主要な事業の 内容	議決権 の所有 割合 (%)	関係内容				
					役員の兼 務等		資金援助貸 付金	営業上の 取引	主要な損益情 報等 (1) 売上高 (2) 経常利益 (3) 当期純利 益 (4) 純資産額 (5) 総資産額 (百万円)
					提出 会社 役員 (名)	提出 会社 社員 (名)			
(連結子会社)									
			<中略>						
その他135社	—	—	—	—	—	—	—	—	—

<後略>

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項】

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 172社</p> <p>連結子会社は、「第1 企業の概況」の「4 関係会社の状況」に記載しているため省略しました。</p> <p>なお、「4 関係会社の状況」のその他128社には、含み損の生じた金融資産・デリバティブ取引等の損失分離に利用され、実際に支配していることが判明した以下のファンド5社を含めております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SG Bond Plus Fund ・Central Forest Corporation ・Creative Dragons SPC-Sub Fund E ・Easterside Investments Limited ・Twenty-First Century Global Fixed Income Fund Limited <p>Olympus Istanbul Optical Products Trading and Service AS他4社は当連結会計年度に新規設立したものです。</p> <p>ITXコミュニケーションズ(株)他1社は当連結会計年度に資本参加したものです。</p> <p>(株)メディア阪神は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、連結子会社としたものです。</p> <p>フィード(株)は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法適用の非連結子会社から連結子会社へ移行したものです。</p> <p>ベックマン・コールター・三島(株)(旧 三島オリンパス(株))他10社は当連結会計年度に株式を売却したこと等に伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>アイ・ティー・テレコム(株)他9社は当連結会計年度に他の連結子会社と合併したことに伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>(株)イー・ピー・オペレーション他8社は当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <p>Olympus UK Acquisitions Limited は重要性が低下したため、連結子会社から除外しています。</p>	<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 179社</p> <p>連結子会社は、「第1 企業の概況」の「4 関係会社の状況」に記載しているため省略しました。</p> <p>Olympus Biotech Europe SAS. 他2社は当連結会計年度に新規設立したものです。</p> <p>Innov-X Systems, Inc. 他9社は当連結会計年度に資本参加したものです。</p> <p>Spiration Inc. は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、連結子会社としたものです。</p> <p>オリンパスビジネスクリエイツ(株)他4社は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法非適用の非連結子会社から連結子会社へ移行したものです。</p> <p>ユナイテッド・ヘルスケア(株)他1社は当連結会計年度に株式を売却したこと等に伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>Olympus RUS LLC他2社は当連結会計年度に他の連結子会社と合併したことに伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>(株)メディア阪神他1社は当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <p>なお、含み損の生じた金融資産・デリバティブ取引等の損失分離に利用され、実際に支配していることが判明した以下のファンド5社は、当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SG Bond Plus Fund ・Central Forest Corporation ・Creative Dragons SPC-Sub Fund E ・Easterside Investments Limited ・Twenty-First Century Global Fixed Income Fund Limited

<p style="text-align: center;">前連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)</p>
<p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社は、次のとおりです。 (株)ラジオカフェ (株)ラプランタ オリンパスメモリーワークス(株) 他10社 連結の範囲から除いた理由 非連結子会社13社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、連結の範囲から除外しました。</p> <p>2 持分法の適用に関する事項</p> <p>(1) 持分法適用の非連結子会社 1社 (株)ラジオカフェ</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社 7社 オルテック(株) (株)アダチ Olympus Cytori Inc. 他4社 フィード(株)は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法適用の非連結子会社から連結子会社へ移行しています。 (株)メディア阪神は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、持分法適用の関連会社から連結子会社へ移行しています。 (株)ITXキャピタル・イノベーション他8社は、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の関連会社から除外しています。 (株)アプリックスソリューションズは当連結会計年度に清算したため、持分法適用の関連会社から除外しています。</p> <p>(3) 持分法を適用していない非連結子会社(株)ラプランタ他11社及び関連会社9社は、連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であるため、持分法の適用から除外しています。</p>	<p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社は、次のとおりです。 (株)ラプランタ オリンパスサポートメイト(株) Olympus UK Acquisitions Limited 他6社 連結の範囲から除いた理由 非連結子会社9社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、連結の範囲から除外しました。</p> <p>2 持分法の適用に関する事項</p> <p>(1) 持分法適用の非連結子会社であった(株)ラジオカフェは、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の非連結子会社から除外しています。</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社 4社 (株)アダチ (株)アーテファクトリー Olympus Cytori Inc. 他1社 オルテック(株)他2社は、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の関連会社から除外しています。</p> <p>(3) 持分法を適用していない非連結子会社(株)ラプランタ他8社及び関連会社7社は、連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であるため、持分法の適用から除外しています。</p>

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 <u>179社</u></p> <p>連結子会社は、「第1 企業の概況」の「4 関係会社の状況」に記載しているため省略しました。</p> <p>なお、「4 関係会社の状況」のその他133社には、含み損の生じた金融資産・デリバティブ取引等の損失分離に利用され、実際に支配していることが判明した以下のファンド5社を含めております。</p> <ul style="list-style-type: none">・SG Bond Plus Fund・Central Forest Corporation・Creative Dragons SPC-Sub Fund E・Easterside Investments Limited・Twenty-First Century Global Fixed Income Fund Limited <p>Olympus Istanbul Optical Products Trading and Service AS他4社は当連結会計年度に新規設立したものです。</p> <p>ITXコミュニケーションズ(株)他1社は当連結会計年度に資本参加したものです。</p> <p>(株)メディア阪神は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、連結子会社としたものです。</p> <p>フィード(株)は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法適用の非連結子会社から連結子会社へ移行したものです。</p> <p>ベックマン・コールター・三島(株)(旧 三島オリンパス(株))他10社は当連結会計年度に株式を売却したこと等に伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>アイ・ティー・テレコム(株)他9社は当連結会計年度に他の連結子会社と合併したことに伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>(株)イー・ピー・オペレーション他8社は当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <p>Olympus UK Acquisitions Limited は重要性が低下したため、連結子会社から除外しています。</p>	<p>1 連結の範囲に関する事項</p> <p>(1) 連結子会社の数 <u>185社</u></p> <p>連結子会社は、「第1 企業の概況」の「4 関係会社の状況」に記載しているため省略しました。</p> <p>Olympus Biotech Europe SAS. 他3社は当連結会計年度に新規設立したものです。</p> <p>Innov-X Systems, Inc. 他9社は当連結会計年度に資本参加したものです。</p> <p>Spiration Inc. は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、連結子会社としたものです。</p> <p>オリンパスビジネススクリエイツ(株)他4社は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法非適用の非連結子会社から連結子会社へ移行したものです。</p> <p>ユナイテッド・ヘルスケア(株)他1社は当連結会計年度に株式を売却したこと等に伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>Olympus RUS LLC他2社は当連結会計年度に他の連結子会社と合併したことに伴い、連結子会社から除外しています。</p> <p>(株)メディア阪神他3社は当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <p>なお、含み損の生じた金融資産・デリバティブ取引等の損失分離に利用され、実際に支配していることが判明した以下のファンド5社は、当連結会計年度に清算したことにより、連結子会社から除外しています。</p> <ul style="list-style-type: none">・SG Bond Plus Fund・Central Forest Corporation・Creative Dragons SPC-Sub Fund E・Easterside Investments Limited・Twenty-First Century Global Fixed Income Fund Limited

<p style="text-align: center;">前連結会計年度 (自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)</p>	<p style="text-align: center;">当連結会計年度 (自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)</p>
<p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社は、次のとおりです。 (株)ラジオカフェ (株)ラプランタ オリンパスメモリーワークス(株) 他 8社 連結の範囲から除いた理由 非連結子会社11社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、連結の範囲から除外しました。</p> <p>2 持分法の適用に関する事項</p> <p>(1) 持分法適用の非連結子会社 1社 (株)ラジオカフェ</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社 7社 オルテック(株) (株)アダチ Olympus Cytori Inc. 他 4社 フィード(株)は重要性が増したため、当連結会計年度より持分法適用の非連結子会社から連結子会社へ移行しています。 (株)メディア阪神は当連結会計年度に追加取得したことに伴い、持分法適用の関連会社から連結子会社へ移行しています。 (株)ITXキャピタル・イノベーション他 8社は、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の関連会社から除外しています。 (株)アプリックスソリューションズは当連結会計年度に清算したため、持分法適用の関連会社から除外しています。</p> <p>(3) 持分法を適用していない非連結子会社(株)ラプランタ他 9社及び関連会社 9社は、連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であるため、持分法の適用から除外しています。</p>	<p>(2) 非連結子会社の名称等 非連結子会社は、次のとおりです。 (株)ラプランタ オリンパスサポートメイト(株) Olympus UK Acquisitions Limited 他 5社 連結の範囲から除いた理由 非連結子会社 8社は、いずれも小規模であり、合計の総資産、売上高、当期純損益及び利益剰余金(持分に見合う額)等は、いずれも連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であるため、連結の範囲から除外しました。</p> <p>2 持分法の適用に関する事項</p> <p>(1) 持分法適用の非連結子会社であった(株)ラジオカフェは、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の非連結子会社から除外しています。</p> <p>(2) 持分法適用の関連会社 4社 (株)アダチ (株)アーテファクトリー Olympus Cytori Inc. 他 1社 オルテック(株)他 2社は、当連結会計年度に株式を売却したことに伴い、持分法適用の関連会社から除外しています。</p> <p>(3) 持分法を適用していない非連結子会社(株)ラプランタ他 7社及び関連会社 5社は、連結純損益及び利益剰余金等に及ぼす影響が軽微であるため、持分法の適用から除外しています。</p>